



2月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2025年 2月1日

** 保育目標 和合 なかよくします **

- ・友だちと一緒に表現する楽しさを味わう。
- ・誰とでも、なかよくあそぶことができる。

【法話】

ご 恩

山口県内のお正月は穏やかで、中旬は、ポカポカする日もありましたが、下旬になって寒さが戻りました。気候の変化、温度変化に留意し体調管理をしたいものです。

さて、私たちは一人で生きていくことは、できません。まわりの多くによって生かされていることを、仏教では「お陰」「ご恩」といいます。そして四恩といって、四つの恩の大切なことが説かれています。その四つは、

1. 父母の恩（父母や家族の恩）
2. 衆生の恩（衆生とは、生きとし生けるものの、一切の生きもののことで、それらから受ける衣食住などの恩）
3. 国の恩（国土天地自然の恩）
4. 三宝の恩（仏法僧〈仏さま・仏さまの教え・仏さまの教えに従う人(サンガ)〉の恩）です。

私自身が、多くに生かされていることに気付かされるところに、「おかげさま」という、ご恩の世界がひらかれてきます。仏さまの恩（三宝の恩）の中で、父母の恩、衆生の恩、国の恩を味わっていきたいものです。仏恩ぬきに他の恩を感じることは、難しいことです。

合 掌

今月の行事予定

3・17日 礼拝 5日 懇談会(ぞう3・4才児・あひる・ひよこ) 奉仕作業 参観日(あひる・ひよこ)
6日 懇談会(きりん3・4才児・うさぎ・りす) 奉仕作業 参観日(うさぎ・りす) *ほし組の懇談会はありません
13・14日 ビッパラセール 18日 避難訓練
発育測定(12日 ぞう・きりん 13日 うさぎ・りす
14日 ひよこ・あひる) 20日 クッキー作り
21日 誕生会 25日 新しいクラスの始まり
*年長児(ほし組)の各小学校の仮入学

「小学生の保育園職場体験」

1月23日、6名の佐山小学校6年生が、総合的な学習の授業で保育園を選んでいただき、3名はうさぎ・りす組で、3名はきりん組で体験してくれました。エントランスで自分で靴を履こうとする園児をうまく励ましてくださったり、走る速さに合わせて鬼ごっこをしてくださったり、園児の目の高さまで腰を下げてお話ししてくださったり、園児達も先生より若いお姉さんといっしょで嬉しそうな様子でした。

後半は職員室であらかじめ準備をされてきた内容の質問タイムで、保育リーダーが丁寧に答えしていただきました。「子どもがけんかをしたときはどうしますか?」「どうして保育士になったのですか?」等、「どんな時に保育士になって良かったと思いますか?」には、「こうやって卒園した子が保育園に来てくれることが何より嬉しい事よ!」とお返事し、来て下さった小学生にも笑顔が広がりました。

一通り質問が終わった頃、小学生から「そしたらみんな、何かあれば、一人ずつ感想話してみる?」と提案する姿。「今まで子ども目線でしか保育園を知らなかったけど、先生目線で初めて見られたことが良かったです。」「保育士の仕事は結構、体力がいる仕事であることがわかりました。」「自分たちが保育園でお世話してもらった時のことを思い出し、先生たちって凄いなあと感じました。」「命を預かる大変な仕事であることもわかったけど、将来保育士になりたいなあと興味も持てた。」等の感想をいただきました。

一人ひとりが素敵な感想を持って頂けたことも嬉しいことでしたが、「感想話してみる?」と、その場で適切な対応を考え、自信を持って自分の思いを述べることのできる力。今山口市の小・中学校で力を入れておられる、子どもたちが未来を生きぬく力の核となる「本物の学力」=非認知能力だなあと感じました。この力は、さまざまな人・もの・ことのつながりを深める中で、保護者や地域の方々と連携・協働しながら、じっくりと時間をかけて育むものであると述べられています。(市報やまぐち2025年1月号)佐山地域がそんな連携や協働を大切に子ども達を見守っていただける環境であることをありがたく思います。また、保育園もその環境の一つであると共に、保育園こそ、その「本物の学力」を育む基礎、根っこの場所であると思っています。「やりたい、やってみたい」を見つけ、人や・もの・こととの関わりが楽しくなる経験を重ねていきたいと思っています。

